

製品名: UBE4B (1H16) ウサギモノクローナル抗体**カタログ番号: AMRe19537**

研究使用のみ

概要

説明	組換えウサギモノクローナル抗体
宿主	うさぎ
応用	WB
反応性	ヒト、マウス、ラット
標識	非共役
修飾	未修正
アイソタイプ	IgG
クローン性	モノクローナル
形態	液体
濃度	0.5mg/ml。本製品の濃度はロットによって異なる場合があります。
保存	アリコートし、-20°Cで保存してください（12ヶ月有効）。凍結/融解サイクルを避けてください。
輸送	氷袋
バッファー	ウサギ IgG（リン酸緩衝生理食塩水、pH 7.4、150mM NaCl、0.02% 新型保存料 N、50% グリセロール含有）。短期保存は+4°C、長期保存は-20°Cで保存してください。凍結融解サイクルは避けてください。
精製	アフィニティー精製

応用

希釈倍率	WB 1:1000-1:5000
分子量	146kDa

抗原情報

遺伝子名	UBE4B
別名	HDNB1; Ube4b; UBOX3; UFD2; UFD2a; Ufd2p;
遺伝子 ID	10277.0
SwissProt ID	O95155
免疫原	ヒト UBE4B の合成ペプチド

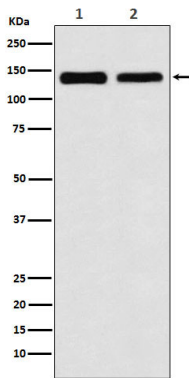
背景

既成複合体のユビキチン部分に結合し、E1、E2、E3 と連携してユビキチン鎖の組み立てを触媒する。ユビキチンタンパク質リガーゼは、特定の E1 および E2 リガーゼと連携して E3 リガーゼとして機能すると考えられる（類似性に基づく）。また、別の E3 ユビキチンリガーゼによってユビキチン化された基質上でポリユビキチン鎖の組み立てを媒介する E4 リガーゼとしても機能する可能性がある（類似性に基づく）。ミオシンシャペロン UNC45B を標的としてプロテアソーム分解を行うことで、STUB1 および VCP/p97 と連携して横紋筋におけるミオシンの組み立てを制御する可能性がある（PubMed:17369820）。

研究分野

ユビキチンを介したタンパク質分解;

画像データ



(1) 293T 細胞溶解物、(2) NIH/3T3 細胞溶解物における UBE4B 発現のウエスタンブロット解析。